

# 佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society



No.  
**5**  
2015.April

事務局

住所：佐倉市宮ノ台 3-2-5 ホワイトハウスA5 TEL：080-5966-1187

URL：<http://rose-society.net> (公式サイト)

## 佐倉草ぶえの丘バラ園 アジアで初のハンチントン殿堂入り 記念報告会等 盛況に

「佐倉草ぶえの丘バラ園」(佐倉市飯野 820 番地)が、アメリカのカリフォルニア州サンマリノ市にある教育研究機関ハンチントン・ライブラリーから、「殿堂入りバラ園」に選ばれたことは、佐倉ばら会通信第 4 号でもお知らせいたしました。

これを記念して、平成26年6月1日(日)に、佐倉市立美術館ホールで、報告会とパネルディスカッションが、佐倉草ぶえの丘で祝賀パーティーが開かれました。

報告会は、中島敏博千葉大学環境健康フィールド科学センター特任助教授の司会により開始され、まず、蕨和雄佐倉市長が、「佐倉草ぶえの丘バラ園が、アジアで初めて殿堂入りしたことを誇りに思う。今後も、世界に誇れるバラ園として、施設の充実に努めるとともに、花と緑を生活の中に取り入れ、佐倉の特色をさらに生かし、花であふれるまちを



挨拶する蕨和雄佐倉市長

目指していきたい」と挨拶。続いて、前原克彦 NPO バラ文化研究所理事長・佐倉ばら会会長が、平成 26 年 2 月 1 日に、サンマリノで行われた、殿堂入りバラ園の表彰式に参加したことや、佐倉草ぶえの丘バラ園とも関係の深い、サンディエゴ市のバルボアパークローズガーデンや、サンフランシスコのクエリーヒル植物園に表敬訪問したことを報告しました。そして、これからも継続して、しっかりとバラの文化を世界に発信していきたいと述べました。



前原克彦氏による報告

次に、上田善弘岐阜県立国際園芸アカデミー学長が基調講演を行いました。上田氏は、古事記や日本書紀、万葉集等から掘り起こし、古代から現代に至るまで、人と花卉とは深いかかわりがあったことについて述べました。さらに、バラについては、人類の文化的な営みによって生み出されてきた文化遺産であることを認識すべきであると語りました。また、広く植物全般の効用についても触れ、環境緩和等の物理的な効用、癒しの効果等の精神的な効用についてもその重要性を確認したなかでの、園芸療法等についても言及しました。最後に、「花の十徳」のスローガンのもと、花卉を生活の中に積極的に取り入れた活動を展開している岐阜県、花フェスタ記念公園のある岐阜県可児市の実践例を紹介し、花卉文化の大切さを訴えました。

その後、NPOバラ文化研究所の職員から、佐倉草ぶえの丘バラ園の開園当初からのボランティア活動について紹介がありました。殿堂入りバラ園に認定された大きな要素が、ボランティア活動の結集によるバラ文化の継承、啓発という点にあったわけで、改めてその活動を振り返るよい機会となりました。最後に、佐倉市長から、佐倉草ぶえの丘バラ園のボランティアの皆さんのこれまでの功績を称え、感謝状が贈呈されました。

引き続き、第 2 部では、「バラのある暮らし」- 佐倉市がバラとともに描く未来 - と題して、パネルディスカッションが行われました。参加したのは、蕨和雄佐倉市長、御巫由紀千葉県立中央博物館主任上席研究員、上田善弘岐阜県立国際園芸アカデミー学長、前原克彦 NPO バラ文化研究所理事長・佐倉ばら会会長、木下勇千葉大学大学院園芸学研究科教授、木下剛同准教授・佐倉市景観審議会会長の各氏。ここでは、花卉を取り入れた各地での実践事例等の紹介や、今後の方向性などが話し合われ、地域振興策の一環として、バラ文化の普及、啓発について、さらに連携を深めていくことが確認されました。



上田善弘岐阜県立国際園芸アカデミー学長の基調講演



パネルディスカッション

また、夕方からは、会場をバラの香りが漂う佐倉草ぶえの丘バラ園に移して、祝賀パーティーが開かれました。最初に主催者として、小林定夫株式会社日比谷アメニス代表取締役が挨拶を行い、続いて佐倉市長から乾杯の発声があり、懇親会がスタートしました。庭園では、佐倉市在住のピアニスト水藤晶さんによる電子ピアノの演奏も行われ、参加した皆さんは、夕暮れのひと時、殿堂入りを果たした素晴らしいバラ園を散策しながら、それぞれ親睦を深めていました。



祝賀パーティーの会場

## 殿堂入りバラ園

アメリカの財団法人Huntington Library, Art Collection and Botanical Garden のGreat Rosarians of the World program から、「殿堂入りバラ園」(Hall of Fame)に、アジアで初めて選定されたものです。The Huntington はロス・アンジェルス郊外のサン・マリノにあり、美術館、図書館、植物園を有する巨大な施設。ボタニカルガーデンの中にバラ園があり、ボランティアとの協働で貴重品種の収集と保存をしています。約100年前に開設されたこの施設は、世界でも有数の研究施設を持ち、研究員が100名以上在籍し、各分野で研究発表を行っています。

殿堂入りの理由は、「佐倉草ぶえの丘バラ園」が、バラの歴史の重要性を日本のバラ界に啓発することに多大な貢献をしたこと、そして、ボランティアの力を結集して、貴重品種の収集と保存に偉大な業績を残したこと、さらに、その重要性を、より多くの皆さんに訴えたこと等によるものです。NPOバラ文化研究所が20年近い時間をかけて継続してきた事業が、世界の人人々に認められたということで、大変名誉なことといえます。

なお、「佐倉草ぶえの丘バラ園」は、後世に残さなければならぬヘリテージローズ（原種とオールドローズ）の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ園です。敷地面積約11,500平方メートル、植栽品種は約1,050種、植栽本数は約2,500株、園内は、ミ

## 佐倉草ぶえの丘バラ園へお越しください。

スターローズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを馳せ、ヘリテージローズの香りと優しさに触れていただけるバラ園です。日本のバラの父、鈴木省三氏から、文字通り引き継いだ原種、オールドローズを中心に世界各国から寄贈されたヘリテージローズと、年間延べ数千人にも及ぶボランティアの皆さんの汗の結晶でもある佐倉草ぶえの丘バラ園に、ぜひ足を運んでみてください。なお、バラ園資料室には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約9,000点が所蔵されています。



佐倉草ぶえの丘バラ園

### 現代バラのルーツ シリーズ5

## Rosa foetida

[前原克彦佐倉ばら会会長]による、  
現代バラのルーツについての連載5回目です。

ロサ・フェティダ 中近東・小アジア原産

今回は、中近東、小アジア原産のロサ・フェティダについて述べさせていただきます。乾燥地帯が原産地であるため、高温・多湿である日本での地植えは難しい。鉢植えにして、雨のかからない温室の中で育てるのが望ましい。

色は、はっきりとした黄色であり、このバラが導入されるまでは、黄色といっても鈍い黄色しか存在せず、このバラは現代バラの黄色のルーツです。フェティダとは「くさい」という意味です。バラとしては香りが冴えませんが、香り自体はくさいとは言えません。このバラの枝がわりであるロサ・フェティダ・ペルシアーナを交配親として、1900年にソレーユ・ドールが生まれました。このバラが大輪・黄色の現代バラの第1号とされています。このバラは作者のペルネ・ドゥッシュエの名前をとり、ペルネシア系のバラと言われましたが、現在ではハイブリッド・ティー系に分類されています。



## 佐倉ばら会企画事業から

### 佐倉ばら会 会員の庭園・ガーデンの見学

平成26年5月18日(日)～31日(土)

佐倉ばら会の会員の庭園・ガーデンの見学として、5月中の期間限定で、佐倉市六崎の湯浅宗倫、サダ子ご夫妻の庭園、八千代市勝田台の貝殻亭リゾートのガーデン、佐倉市木野子の日本サーナのハーブ園を、佐倉ばら会としてご紹介し、期間中、会員の皆さんのほか、知り合いの皆さんのご都合のつく日に、見学をしていただくということで、実施いたしました。貝殻亭リゾートは、敷地の斜面に咲く数多くの花々が見事なガーデン、日本サーナのハーブ園では、様々な種類のハーブやバラを見学出来ます。ここでは、個人会員の湯浅さんご夫妻が、丹精込めて育ててこられたバラ園をご紹介します。

湯浅邸庭園には、100種類以上のバラがあり、毎年多くの皆さんが訪れています。今回も、5月の期間中、180人以上の方が見学に来られたそうです。今年もまたご厚意により、見学させていただける予定ですので、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

▶湯浅さんご夫婦とバラ園



### 佐倉草ぶえの丘バラ園 バラ鑑賞会

平成26年5月30日(金)

春バラの開花に合わせて、佐倉草ぶえの丘バラ園のバラ鑑賞会を、平成26年5月30日(金)に実施しました。当日は、佐倉ばら会会長の前原克彦氏の案内で、バラ園の特色や、世界の原種コーナーや、アジアの原種コーナー等、各コーナーの詳しい説明があり、参加した皆さんは、草ぶえの丘バラ園の素晴らしさについて、再認識したようです。

▶バラ鑑賞会



### サロントーク「フランス・イギリスの庭園とバラ事情」

平成26年7月12日(土)

平成26年7月12日(土)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開かれました。講師は、鈴木省三氏に師事されNPOバラ文化研究所副理事長として草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、「オールドローズ花図鑑」(小学館)等、多くのバラに関する著書も執筆されている、佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏をお迎えしました。今回は、「フランス・イギリスの庭園とバラ事情」をテーマに、バラの風に誘われて(フランスの田舎とイギリスの田舎のバラを訪ねて)と題して、プロジェクターを使いながら詳しく解説されました。野村氏は、前月にフランスとイギリスを訪問されたばかりで、最新のお話を聞くことが出来ました。

参加された皆さんには、フランス庭園とイギリス庭園の違いや、野村氏が解説してくださった一つ一つの庭園や村、お城のお話を通して、バラがどのようにガーデンづくりに生かされているのかを知ることが出来て、さらに学びが深まるサロントークとなりました。

▶サロントーク



### ザ・トレジャーガーデン館林 日帰りツアー

平成26年10月15日(土)

昨年のアカオハーブ&ローズガーデン日帰りバスツアーに続き、秋バラの見ごろを迎えた平成26年10月15日(水)に、群馬県館林市の「ザ・トレジャーガーデン館林」への日帰りバスツアーを行いました。まず、先に立ち寄ったのは、分福茶釜の寺として知られ、応永33年(1426年)に大林正道大和尚によって開山された曹洞宗寺院の茂林寺です。境内の総門と山門の間の参道には、20体ほどの人間よりも大きな信楽焼の狸の像が両脇に整列して参拝客を迎えくれました。中にはとてもカラフルな狸もいて、参加された皆さんも驚いていました。

続いて、「ザ・トレジャーガーデン館林」です。約80,000㎡の敷地には、バラをはじめ一年草、宿根草、球根など4,000種類・100万株の植物が植えられています。同ガーデンの広い園内には、華やかなバラと宿根草が競演するローズガーデンエリアがあり、他にも約25万株の芝桜が植えられた芝桜ガーデン、青のガーデン、水辺のROSEガーデン、ロングボーダーガーデン、約30万株の様々な宿根草を用いたプリリアントガーデンなど7つのテーマにそった花々が四季にあわせて咲き誇り、心を癒すガーデンとなっています。同ガーデンは、東武グループが運営し、秋バラの季節に合わせてしっかりと管理されていたので、訪れた時には、美しい数々のバラが出迎えてくれました。エリアによって種類や色が違い、素晴らしいシーンとともに、それぞれのバラの香りを楽しめる散策となりました。

▶ザ・トレジャーガーデン



### 佐倉ばら会 会員懇親会

平成26年12月21日(日)

平成26年度の会員懇親会が、平成26年12月21日(日)に、八千代市勝田台の貝殻亭2階のガーデンサロンで開かれました。この懇親会は、会員の皆さんが一堂に会し、会員相互の親睦を深めるために、年1回開催されています。参加された皆さんは、美味しいランチをいただきながら、バラにまつわる話や、ご自分で育てているバラの写真の回覧、企画事業についての意見交換等、日曜日のひと時、楽しい時間を過ごしました。

▶ガーデンサロンでの懇親会

### 木バラの剪定講習会

平成27年2月7日(土)

平成25年度事業として予定していた本事業ですが、雪のため中止となりましたので、改めて、平成26年度の事業として、NPOバラ文化研究所とのコラボレーションにより、平成27年2月7日(土)に、佐倉草ぶえの丘バラ園で行われました。冬のバラ剪定は、春に咲く花の位置や、見た目を美しくさせるために必要な作業で、この時期に剪定を行うことで、木が休んで体力を蓄え、春に一斉につぼみをつけ、同時期に花を咲かせることが出来ます。当日は、ハイブリッドティーローズは、枝を三分の一程度残す強剪定、フロリバンダローズ等は、二分の一程度残す中剪定、オールドローズは、四分の三を残す弱剪定と、バラの種類によって、その剪定の仕方が異なることを、実際のバラを剪定しながら、約1日をかけて、じっくりと学びました。

▶剪定講習会の様子



## 佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成 24 年度から佐倉市との協働事業により、JR 佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえる JR 佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成 26 年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年 5 回(4 月・7 月・9 月・11 月・2 月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も不定期に実施しました。なお、通常の管理については、志津コミュニティセンターの担当者によって行われています。



志津コミュニティセンターのガーデン



JR 佐倉駅北口前ガーデン

## 新規事業について ~ 染井野小学校のバラ花壇整備 ~

佐倉ばら会では、なるべく若い皆さんに、美しいバラの花に接し欲しいということで、もともと学校内にバラ花壇があった、染井野小学校の P T A の役員及び関係者の方々とは何度かお会いするなかで、バラ花壇の整備について検討を行ってきました。花の力を通して、児童の心を豊かに醸成したい、という学校側の考え方は、佐倉ばら会としても、その活動の趣旨に合致するものです。

染井野小学校の校庭は周辺からも良く見え、校舎の作り方も重厚であるので、ここにバラ花壇を作れば風景にマッチし、学童を含めて、周辺住民の方々にも喜んでいただけるものと判断し、その後も学校関係者の方々との会合を何度か持ち、紆余曲折もありましたが、花壇を改装し、バラ花壇を設置することが決定しました。

その後、佐倉ばら会及びバラ文化研究所の賛同を得、P T A 環境委員会、P T A の O G、教育委員会及び行政との共同作業が始まりました。設計は佐倉ばら会会長が担当し、工事は、関係する皆さんが、それぞれに力を出し合いました。

コンセプトは明るい、花に溢れる少し、フォーマルでおしゃれなガーデンとしました。小学校の花壇という意識はせずに、大人の鑑賞に耐えられるものにする事で皆さんの了解を得て、コンクリートを使った作業、鉄製品の設置、土壌改良、植栽作業、その他の造園作業が全員の結束により終了しました。5 月の開花が今から楽しみです。

なお、佐倉ばら会では、今後も、この染井野小学校のバラ花壇整備のように、花壇整備の希望があり、自ら維持管理をしていただける団体等に対して、花壇造りの整備助成を行っていく計画です。詳細は、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。



染井野小学校のバラ花壇

## INFO MATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください!

佐倉ばら会では、平成 27 年(2015 年)度も、多彩な事業を計画しています。現在計画中の主な事業は、下表のとおりです。詳しくは、正式決定後に、会員の皆様には、個別にご案内を差し上げますので、多数ご参加ください。

### 平成 27 年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【協働事業等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ N P O バラ文化研究所関連の 27 年度事業 2015 年リヨン大会(世界バラ会連合第 17 回世界大会 期間:2015 年 5 月 23 日~6 月 3 日 フランス・リヨン)参加(6 人、うち佐倉ばら会から 4 人参加)への協力(手続き、説明会等)。</li> <li>・ 佐倉草ぶえの丘バラ園開園 10 周年記念イベントへの協力。</li> <li>・ リヨンでの世界バラ会連合世界大会で優秀バラ園として、佐倉草ぶえの丘バラ園が表彰された場合、その受賞記念祝賀会(11 月実施予定)への協力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐倉ばら会会員の庭園の観賞会(オープンガーデン)の実施 オープンガーデンについては、小出邸、湯浅邸、貝殻亭、日本サーナハーブ園を予定。詳細については、会員へ案内状を送付。</li> <li>・ 野村和子氏によるサロントーク(紅茶・ケーキ付き) ■日時 7 月 25 日(土)。午後 2 時~4 時 ■場所 佐倉草ぶえの丘 資料室</li> <li>・ 日帰りバスツアー 10 月 16 日(金)。 鎌倉で、鎌倉バラ会との懇親会(昼食)を計画。</li> <li>・ バラ剪定講習会 平成 28 年 1 月中の土曜日に開催を予定(N P O バラ文化研究所主催の講習会に参加)</li> <li>・ バラの普及活動のための事業 市内の花壇づくりの助成と維持管理、26 年度に実施した染井野小学校の花壇の染井の地区会員による管理、さらに、今後実施可能な場所及び協力団体等の検討。</li> <li>・ 会員親睦会の実施。 時期は未定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J R 佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業)。 植栽及び手入れ(4 月・7 月・9 月・11 月・2 月)。 7 月下旬~9 月上旬 手入れ(草刈り、水やりを、佐倉ばら会会員、佐倉市(産業振興課)、N P O バラ文化研究所の協力を得て、重点的に実施)。</li> <li>・ 志津コミュニティセンター花壇の維持管理。 植栽及び手入れ(4 月・7 月・9 月・11 月・2 月)。 日常の水やり等は志津コミュニティセンターの管理責任者が実施。</li> </ul>



JR 佐倉駅北口駅前ガーデンの整備



志津コミュニティセンターのガーデンの整備

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデアがございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

## INFO MATION 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

佐倉ばら会 (Sakura Rose Society) は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成 22 年(2010 年)3 月に設立されました。これまでに、バラに関連した親睦事業や、バラの剪定・接ぎ木の講習会、バラに関する講演会、志津コミュニティセンターの敷地内にバラと宿根草のミニガーデンの寄贈、佐倉市との協働による J R 佐倉駅北口前の景観整備事業の実施等、様々な事業を展開してまいりました。平成 27 年(2015 年)度も、多彩な事業を展開していく予定です。皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。これらの事業を通して、私たちの住む佐倉が、園芸による文化薫るまちになっていくこと、また、潤いと感動のあるまちになっていくことを願っています。佐倉ばら会では、会員を募集しています。各種事業を通じて、会員相互の親睦を図りながら、バラや植物の知識を習得し、佐倉のまちを美しく、潤いのあるまちにしていきたいませんか。正会員の年会費は 3,000 円、会員特典としては、佐倉草ぶえの丘の入場料の割引(通常 410 円が 290 円)、日本サーナ株式会社(サーナピア)の商品の 10% 引(一部商品を除く)の特典もございます。

詳細は、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。会員の申し込みについては、ホームページからも出来ますので、ぜひご覧のうえ、お申込みください。

